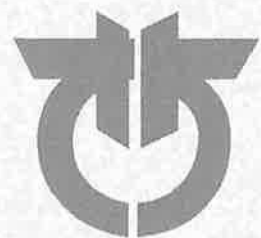


人権教育広報

ふれあい

編集・発行 桶川市人権教育推進協議会



第20号



朝日小学校 2年 小池 あおい 蒼

人権標語優秀作品

【小学校の部】

SNS 気をつけないと SOS
ひろがって コロナじゃなくて 思いやり
人々が 見上げる先は 同じ空
あいさつは あいを伝える あいことば
一人一人が主人公 みんな同じ 命のおもみ
ごめんねと いえるあなたは つよいひと
ありがとう 一言だけど まほうだね

【中学校の部】

消しゴムで 消せない言葉 言わないで
気をつけて SNSでの 言葉の刃
多様性 認めて創る 良い未来
考えて。「いじり」じゃなくて「いじめ」かも

- 桶川西小学校6年 金井 優希 ●
- 加納小学校3年 笠原 さな ●
- 川田谷小学校5年 新倉 聖大 ●
- 桶川東小学校5年 村上 美遥 ●
- 日出谷小学校4年 園部 健吾 ●
- 朝日小学校1年 草間 雄哉 ●
- 桶川小学校2年 新屋敷 和輝 ●

- 桶川中学校2年 古財 唯夏 ●
- 桶川東中学校3年 玉那覇 圭介 ●
- 桶川西中学校3年 土井 鈴 ●
- 加納中学校3年 小川 幸乃 ●

(児童・生徒名については敬称略)



異学年交流で豊かな体験

桶川市立桶川西小学校

本校では、「差別の不合理に気づき、人権尊重の精神を培い、生活の中にある偏見や差別をなくしていく態度を育てる」を人権教育目標に掲げ、全ての教育活動を通じて人権教育を推進しています。

また、学校課題研究として「国語科における豊かな表現力の育成」をテーマにし、自分の思いや考えをもち、豊かな言葉で伝え合うことを大切にした教育活動を進めています。

さまざまな体験活動を通じて、学校・家庭・地域が一体となった人権教育に取り組んでいます。

十一月に、「西っ子フェスティバル」が行われました。「西っ子フェスティバル」は、一年生から六年生の縦割り班で遊びを考えて準備をし、当日交代しながらお店を回っ

て楽しむものです。コロナ禍で本校PTA主催の「くすの木まつり」の開催ができない年から始まりました。高学年の児童が中心となって遊びの計画を立て、準備を進めました。当日は、的あてや箱積み、片足立ちチャレンジなど、アイデアいっぱいさまざまな遊びを通して交流し、楽しみました。お店番の役割を担当したり、遊びに出かけたりするのも、異学年でグループを作り活動しました。高学年の児童が低学年の児童を気遣いながら、さまざまな遊びを体験することができました。

児童は多くの交流をすることにより、ふれあいを深め、友達との仲間意識を高めることができました。「西っ子フェスティバル」を通して、学校への愛着がさらに深まることを願っています。



本校では、学校教育目標「志をもち、自ら学ぶ健康でたくましい生徒」のもと「人権の尊重と人間平等の精神を育てる」、「不条理や矛盾を見抜き、科学的、合理的な考えを育てる」、「二人一人を大切にしたい明るい学級づくり」に努め、より豊かな人間性を養うことに努める、「社会に存在するさまざまな人権問題に関する認識を深め、差別を解消していく」とする精神の基盤を育てる」を人権教育重点目標に掲げ、日々の生活活動や各教科学習、特別活動、総合的な学習の時間を通じての人権教育の推進に取り組んでいます。

特に、道徳教育を通しての人権意識の向上に意欲的に取り組んでおり、生徒の成長過程に合わせた



道徳教育全体計画を立て、生徒がねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め、豊かに生き生きと表現して、よりよく生きようとする意欲を自ら育もうとする力を高める取組を行っています。

また、全校を挙げての人権作文や人権標語の執筆を今年度も行いました。自身の体験や身近な問題に焦点をあてた生徒やロシアン・ウクライナ間での戦争における人権侵害をテーマにあげた生徒もあり、どの生徒も人権問題に対して真摯に向き合い、人権を守ることの大切さを考える機会をもつことができました。

今後も学校全体で、人権問題に関する正しい理解を深め、人権問題を解決しようと自ら学び、行動する力の育成を目指し、日々の教育活動を充実させていきたいと思っています。



全教育活動を通じた人権教育の推進

桶川市立川田谷小学校

本校では、人権教育目標として「人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育成する」ことを掲げ、教育活動全体を通じて児童・教職員の人権意識を高める取組を行っています。

具体的実践として、毎月一度「川小じんけんの日」を設定し、児童一人一人に学校生活アンケートを実施し、いじめなどの早期発見を目指しています。その他にも、人権メッセージや人権作文はもちろんのこと、川田谷小学校オリジナルの取組である「人権標語」にて児童・教職員の人権意識を高めています。この「人権標語」とは、児童一人一人が人権について、真剣に向き合って考えた標語を短冊に書き、校内に掲示するというもの

です。この取組を通して児童・教職員の豊かな人権感覚の養いを目指しています。

また、学校課題研究においては、道徳科は「主体的に判断し、よりよい人間関係を築くことができる児童の育成」を目指し、児童がお互いの立場や考えを認め合い、思いやりの心が育つように取り組んでいます。

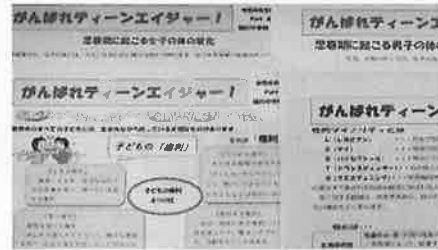
このように、児童一人一人が学校生活に輝き、表現できる取組が、お互いの人権を尊重する態度を育むと考え、今後もさらなる人権意識育成を図っていきます。



本校では、学校教育目標「学ぼう未来へ、育てよう心と体」の教育目標と「時を守り、場を清め、礼をつくす」の実践目標のもと、人権教育の目標「一人一人の人権を尊重する能力、態度、実践力を養う」「相手の立場を考え、共に学び合える正しい理解と認識を育てる」を設定し、人権教育を推進しています。

本年度は、人権作文や標語作成を全校で取り組みました。人権標語の優秀作品は校内の人権コーナーで紹介しています。

また、感染防止対策をとりながら生徒会を中心に落ち葉掃きボランティアや保護者によるあいさつ運動を行っています。



人権教育は全教育活動を通じて推進するという観点から、各教科分掌とも連携を図っています。保健指導と連携し、保健だよりにより一人一人を大切にするという視点で思春期の体の変化、性的マイノリティ、子供の権利などを取り上げ、全校生徒に配布しました。教職員の夏季研修では、人権教育研修会を実施し、主な人権課題（同和問題やLGBTQなど）について理解を深め、教職員の人権意識の向上を図っています。

これらの活動から、生徒に「周りに対する思いやりの気もち」や「気づく力」を育んでいきたいと考えています。今後も活動とともに、取組の振り返りや見直しを図り、より一層人権意識の向上に努めていきます。



自ら学び、行動する力を育む人権教育の推進

桶川市立桶川西中学校



思いやりと気づく力を育む活動

桶川市立桶川中学校



と積極的に関わるこ
目指し、気持ちを通
の工夫・改善に取り
また教職員自身が
を図り、人権問題の
自らの人権意識を見
覚を身につけられる
四年生では認知症
ています。認知症に
の人への接し方を学
ぶことで、認知症の
方への気もちに寄り
添って考えることが
できました。

今後、教職員の
人権意識と指導力の
向上を図るとともに
さまざまな活動を通
して、児童の自他を
思いやる心の育成に
努めていきます。



と積極的に関わる事ができる児童」の育成を
目指し、気持ち伝える力を育てる特別活動
の工夫・改善に取り組んでいます。

また教職員自身が、人権問題の正しい理解
を図り、人権問題の解決に向けて意欲を高め、
自らの人権意識を見つめ直して確かな人権感
覚を身につけられるよう夏季研修を行いました
四年生では認知症サポーター教室を毎年行っ
ています。認知症に関する正しい知識と認知症

人権教育DVDの紹介



「普通」として発せられた言葉に、無意識の偏見が含まれていることがあ
るのです。



性が尊重された誰も
が過ごしやすい社
会について
考える
ことができる
教材です。

多くの人は「自分の普通の生活の中で差別はない、当然自分は差別をしない」と思っているかもしれません。では「多くの人の普通」は果たして本当に「普通」なのでしょうか？「混んでいる電車に単いすで来るなんて、普通、遠慮するでなしに」「日本の生活が合わないんだっしたら、普通自分の国に帰るよね」「レズビアンとかゲイの人って趣味でしょう？」と何の権利が必要なのかよくわからない。少数の人は多くの人に合わせるのが普通、「女性」「高齢者」など、特定の属性の人には分のわかまえる方がある、など……

性の多様性とLGBTQ+

誰もが自分らしく
生きるために――

「性のあり方」はとても多様で、すべての人々に関わりがあるものです。本作品は、「性のあり方」についての基礎知識をわかりやすく解説しながら、典型的でないといわれる性のあり方の人たちのインタビューを通して、性にはさまざまな形があることや、性的マイノリティを取り巻く実状についても伝えます。性のあり方について理解を深めることで、多様



本校では、「明日をつくる日出谷の子」を学校教育目標と定め、人権教育における目標を「人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、人権尊重の精神を育てる」としています。このような豊かな心を育成するため、新型コロナウイルス感染予防を十分に行い、次のような活動に取り組んでいます。

○あいさつ運動（心を迎わせて）
各学級や児童会の代表委員が定期的に昇降口の前に立ち、あいさつ運動をしています。この取組を通して、進んであいさつすることの大切さや、相手に届くあいさつを考えるよい機会となっています。元気のある声と輝くような笑顔で、あいさつをする側もされる側も気持ちのよいスタートをきることができています。

○ふれあいタイム♡心で触れ合い♡
一年生から六年生までの縦割りグループをつくり、昼休みに一緒に遊ぶ活動をしています
秋には、「日出谷フェスティバル」があり、縦割りグループで協力して遊びのお店を出したり、他のグループのお店に遊びに行ったりしながら普段交流が少ない他学年の児童との親睦を深めています。今年度は制限を設けましたが、日出谷フェスティバルへの保護者の方の参観がなかった。



今後もこれらの取組を通して、笑顔のあふれる日出谷の子を育てていきます。

本校の校舎には、校是「汝の根に注意を集めよ」を表す壁画があります。生徒自身が大きな根を張り、その上に成長することが大切であることを表しています。「高校三年間は、豊かな人生を送るためのしっかりとした強い根を育てるとき」という強い思いが込められています。

本年度、本校はその根の一つとして、人として大きく成長し、互いを尊重し合える心を育てる活動に取り組んできました。例えば、三年ぶりの文化祭を限定公開という形で開催し、互いに協力して形を作っていく体験や外部の方との交流などを経験しました。一学年は、修学旅行で広島を体験しました。二学年は、修学旅行で広島を体験しました。三学年は、修学旅行で広島を体験しました。

「平和」や「生と死」などについて考えてきました。人権教育講演会では、NPO法人埼玉ユースサポートネットワークの青砥先生を迎え、「貧困」について貧困とは何か、どうして貧困に陥るのか、貧困に陥ったらどうすればよいのかなどについてお話し頂きました。この講演を活かして、困った時は仲間同士助け合う気持ちをもって欲しいと思います。

す。

その他、科学部の「ハートフル桶
西水族館」での地域連携、放送部の
地域行事参加など、ボランティア活
動やささまざまな取組を通して、思い
やりの心、コミュニケーション力など
を育み、誇りを
もった高校生活
を送れるように
しています。

新型コロナウ
イルス感染症の
不安も消えませ
んが、病気だけ
を正しく恐れ、
偏見や差別を遠
ざけて落ち着い
て過ごすよう生
徒に伝えていま
す。



他者への思いやりと自ら誇れる自分づくり
埼玉県立桶川西高等学校

人権作文

がんばり屋さんの

おばあちゃん

小学校四年

わたしは、とても思い出にのこっているおばあちゃんがいます。わたしが二さいで引っこす前のとき、近所にやさしいおばあちゃんがいました。そのおばあちゃんは、耳が聞こえませんが、おばあちゃんに育てた野菜やくだ物を、近所の人達に配っていました。そんなおばあちゃんを見てわたしは、「がんばっていてすごいな。」

とおもっていました。わたしとお母さんは、散歩するときにおばあちゃんに毎回あいさつをしていました。でもおばあちゃんは耳が聞こえないので、あいさつしても気づきませんでした。そこで、どうやったらおばあちゃんと話ができるかを考えました。そして、手紙を書くことを思いつきました。

わたしは、そのとき二さいで、字が書けなかったので、文字のシールを紙にはって、手紙を作りました。そして、近所の人達の一言も手紙に入れようと思いました。近所の人達にたのみに行

くと、よろこんで一言書いてくれました。いつもお世話になっていいるおばあちゃんへの手紙は、愛情でいっぱいの手紙になりました。手紙をあげるときに、

「おばあちゃんは気づいてくれないかな。」

とおもったので、手紙をポストに入れました。

何日かたったある日、おばあちゃんがくだ物をくばりに来ました。そのときに、

「みんな手紙ありがとうね。」

と、耳が聞こえないから話すのは苦手だけど、小さい声で言ってくれました。そして、おばあちゃんから手紙をもらいました。その手紙は字こそ見えにくかったけど、がんばって書いてくれたような愛情のこもった字に見えて、とてもうれしい気持ちになりました。

それから、近所の人達は紙を持ち歩いて、紙に字を書いておばあちゃんと話すようになりました。おばあちゃんはみんなと話ができるようになって、前よりも楽しく、生き生きとしているように見えました。近所の人達も、楽しそうにおばあちゃんと話していました。わたしも、おばあちゃんの家の前を通るたびに、おばあちゃんと話すことが楽しになりました。

耳が聞こえない人でも手紙や手話で会話が出来ます。他にもしゃべること

ができない人や、目が見えない人もいます。しゃべれない人には手話、目の見えない人には音で伝えるなど、工夫することでしょう。音が聞こえる人と接することが出来ます。会話だけではなく、建物にも工夫がされていて、目の見えない人に点の数で分かるようになってるものもあります。

わたしは、しょうがいがある人を見かけたら、道を教えたり、紙に書いて会話したりといういろいろな工夫にちようせんし、工夫することで、人にやさしく接していきたいです。そして、いろいろな人と関わりをもっていけるようにしたいです。

おばあちゃんは今も元気に野菜やくだ物を育てていると思います。



編集後記

みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

様々な人権課題解決のために、私たち一人一人が人権感覚を磨き、自らの課題として受け止め、日々の実践に向けて努力していきましょう。

桶川市教育委員会生涯学習・スポーツ推進課
〒363-8501 桶川市泉1丁目3番28号
TEL 048-788-4970 (直通)